令和 7 年 2 月

教員各位

作新学院大学大学教育センター

シラバス作成にあたっての留意事項

日頃、作新学院大学の教学運営のために御尽力いただき、誠にありがとうございます。

文部科学省及び中教審答申を踏まえて、認証評価、授業形態に関する各種調査・分析等に対応するため、令和 4 年度よりシラバス様式を大幅に変更いたしました。

本学では学生に授業科目の体系的な履修や主体的な学修を促すために、シラバスの充実、改善への取り組みを継続しているところです。特にご留意いただきい点についてご確認の上、作成をお願いします。ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

1.留意点　（詳細ｐ.2～）

（1）半期 15 回（通年 30 回）授業計画の明記について……2
（2）授業時間以外の学修（予習・復習）に必要な時間の明記について（学生の予習・復習を促すために）……2
（3）実務経験の有無について（該当教員のみ）……3
（4）ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）との関連について……3
（5）ルーブリックに ついて……4
（6）成績評価について、試験、レポート、平常点などの割合について……4
（7）課題へのフィードバック方法について……5
（8）ICT を活用した双方向型授業の内容について（該当科目のみ）……5
（9）アクティブラーニングについて（該当科目のみ）……6
（10）SDGs との関連について……6

2.〔記入上の注意〕Web シラバス入力項目について　（詳細ｐ.7～）

3.記入例（詳細ｐ.10～）

【シラバス例 1】・・・予習・復習を毎回の授業計画表にも記載した例

【シラバス例 2】・・・予習・復習を「授業時間外の学修」欄に記載した例

4.参考　（詳細 17.＊～）

LMS（ラーニング・マネジメント・システム）「WebClass」の利用について

単位数と学修時間（学則第 28 条の要約）

別添一覧（参考資料）

別添 1「実務経験のある教員等による授業科目の一覧表 ＜2024 年度＞」
別添 2「作新学院大学ディプロマポリシー」
別添 2-2「女子短期大学部ディプロマポリシー」
別添 3「共通ルーブリック集」

１．留意点

（1）半期 15 回（通年 30 回）授業計画の明記について

授業計画は、学生が受講科目を選択する上で重要な情報になるとともに、学生が予習・復習する上でも不可欠な情報です。次の点にご留意ください。

・半期科目 15 回分（通年科目 30 回分）の授業計画を各回に記載してください。

・定期試験は、上記授業回数に含まないことにご注意ください。

・各回の授業内容には、キーワード、教科書の該当ページ、参照資料、予習・復習の指示（学修時間の目安）など、できるだけ具体的な学習内容を記載してください。

・卒論指導や研究ゼミナール等において、前項のような記載（具体的な学習内容）がそぐわない場合は、「第〇回：研究テーマの検討」、「第〇回：研究計画の策定」など、指導スケジュールや研究目的など研究の進め方の手引きになるような内容を記載してください。

・授業回において担当教員が異なる場合は、各回の担当教員名を記載してください。

（2）授業時間以外の学修（予習・復習）に必要な時間の明記について（学生の予習・復習を促すために）

学生が授業時間以外の学修（事前準備や事後展開等）に主体的に取り組めるように、具体的な授業計画を記載してください。たとえば、各回の授業計画に関連するキーワード、教科書の該当ページ、参照資料、予習・復習の指示など、できるだけ具体的な学習内容を記載してください。またその際、予習、復習や課題作成に必要な学修時間の目安も記載してください。講義や演習など 2 単位科目の場合は、授業時間以外の学修は 60 時間（4 時間／週）に相当し、外国語や実技など 1 単位科目の場合は、同 15 時間（1 時間／週）に相当します。（詳しくは、「単位数と学修時間」（p.12）をご参照ください。）

毎回の授業計画に予習・復習（内容と学修時間の目安）の指示を記載することが困難な場合には、「授業時間外の学修」欄を利用して、次のような方法で予習・復習を促してください。

（例１）「各回の授業に臨むにあたり、授業計画に示した授業内容の予習・復習を 3～5 時間程度行うこと。」

（例２）「予め提示した課題について予習・復習（3～5 時間程度）を行ない、授業の冒頭に発表会を行う。」

（例３）「各回の授業内容をレポートにまとめ（学修時間の目安 3～5 時間程度）、次回の授業冒頭に提出する。」

（例４）「各回の授業冒頭に前回の授業内容に関する小テストを実施するので、3～5 時間程度の復習を欠かさないこと。」

（例５）「WebClass 内のコースに掲載している授業内容を参照し、その指示に従って予習・復習（3～5 時間程度）を行うこと。」

（例６）「WebClass 内のコースに小テスト等の自習教材を掲載するので、次回までに学修しておくこと。（毎回 1 時間程度）」

（3）実務経験の有無について（該当教員のみ）

別添 1_「実務経験のある教員等による授業科目の一覧表＜2024 年度＞（学科別）」の該当教員のみ記入をお願いします。

担当教員等の実務経験について、当該授業科目を履修しようとする学生等にとって、「どのような実務経験を持つ教員等が、その実務経験を活かして、どのような教育を行うか」を理解できるかという視点に立ってご記入をお願いします。

参考：「別添 1_実務経験のある教員等による授業科目の一覧表＜2024 年度＞（学科別）」

実務経験の有無	
実務経験のある教員が担当する　例：企業団体の実務経験者・税理士・学校現場教員経験者・カウンセラー等	
担当教員の実務経験内容（資格名：勤務年数）	児童養護施設職員（　年）、児童相談所における児童相談（　年）、児童家庭支援センター（　年）での実務経験を有する。
実務経験をいかした教育内容	児童養護施設における職務経験（　年）から施設の役割機能、子どもへの理解と対応など、また児童相談所（　年）、児童家庭支援センター（　年）での経験から、社会福祉全般のしくみや機関の役割機能、今後の課題等を具体的な事例を交えて支援者に必要な思考力・実践力が身につけられるよう授業を展開していく。

（4）ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）との関連について

「ディプロマポリシーとの関連」欄に、ディプロマポリシー（別添 2「作新学院大学ディプロマポリシー」参照）のどの事項を学ぶための科目かを、4 つの項目を見ながら重みづけを選択してください。

短大の場合は、「短大　学修成果」を選択の上、別添 2-2「女子短期大学部ディプロマポリシー」を参照ください。

参考画面（例：大学　学修成果）

ディプロマポリシーとの関連	大学 学修成果		
ディプロマポリシー①③ 自律学習能力の修得	ディプロマポリシー② 専門的知識・技術の修得	ディプロマポリシー④ 分析・論理構成・表現力の修得	ディプロマポリシー⑤⑥ 問題解決能力・協働性の獲得
○	◎	◎	◎

（5）ルーブリックについて

科目ごとのルーブリックを作成してください。

別添３「共通ルーブリック集」を参考として、「ルーブリック」欄に、コピー＆ペーストすることができます。その際、授業に合わせて文言を修正することもできます。

参考画面（例：授業別ルーブリック　評価項目３つ）

「授業別ルーブリック評価項目」を３つ～５つのいずれかを選択してください。

ルーブリック　授業別ルーブリック 評価項目３つ

評価項目 (0～200文字)	優秀（excellent） (0～200文字)	平均（average） (0～200文字)	途上（developing） (0～200文字)	未達（unachieved） (0～200文字)
課題解決能力	他からの支援を受けずに独自の能力で課題を解くことができるとともに、解法が定まらない他者に的確なアドバイスができる。	基本的に他からの支援を受けずに独自の能力で課題を解くことができる。	参考資料を参考にしたり他からの支援を少し受けながら自身の能力で課題を解くことができる。	参考資料を参考にしたり他からの支援を受けたししてもなかなか自身の能力で課題解決が難しいので、できるだけ一緒に課題解決ができるよう支援している。
プレゼンテーションの分かりやすさ	課題設定・研究の手順と実際・結果・考察等が、分かりやすくまとめてある。画面がとても見やすい。	課題設定・研究の手順と実際・結果・考察等が、分かりやすくまとめてある。	課題設定・研究の手順と実際等が、教員の支援を基にまとめてある。	教員の支援があっても、なかなか自身でまとめをすることができない。
プレゼン内容についての質問等への対応が適切である。	質問の意図を理解し、その答えを論理的に説明できるため、質問者も十分理解ができる。熱心に受け答えをしている。	質問の意図を理解し、その答えを説明でき、質問者も理解ができる。	質問の意図を理解し、何か答えられるが、質問者を十分に理解させるところまではいかない。	質問の意図を理解できず、何も答えられない。

（6）成績評価について、試験、レポート、平常点などの割合について

最終的な成績評価方法を記載してください。

期末試験、小テスト、レポート、平常点など**複数の評価方法を適用する場合は、それらを適用する割合（0～100%）を選択**してください。

その際、授業へ出席することは履修の前提条件ですので、**出席回数が単純に評価されるような表現（「出席点を加味する」、「出席状況 20%」など）はしないでください。**

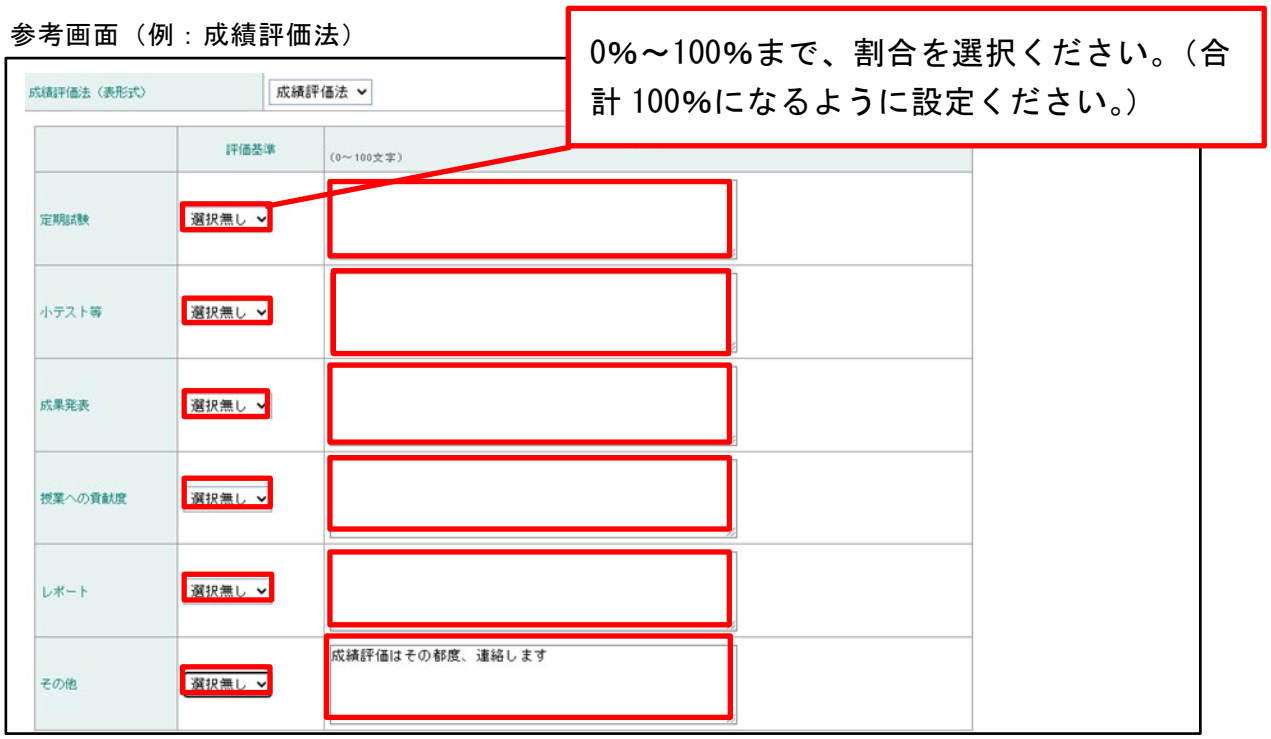
（参考）経営学部履修規程、人間文化学部履修規程

（受験資格）

第１１条 次の各号の一に該当する者は、受験資格を有しない。

（３）特別な理由なしに、受験する授業科目の出席時間数が、その授業科目の授業総時間数の３分の２に達しない者

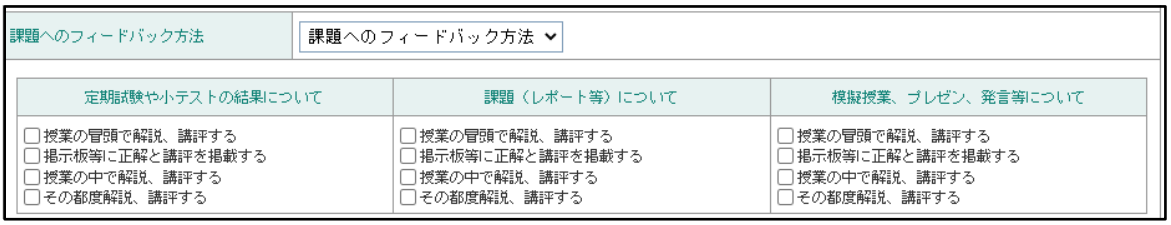
参考画面（例：成績評価法）



（7）課題へのフィードバック方法について

学修成果の定着を促すために、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法を「課題へのフィードバック方法」欄の中から該当する項目を選択してください。

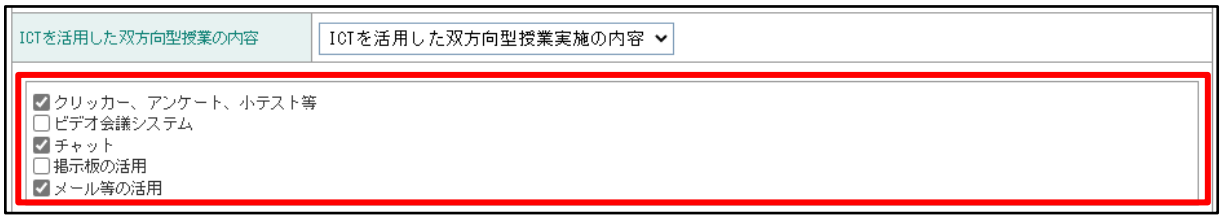
参考画面（例：課題へのフィードバック方法）



（8）ICT を活用した双方向型授業の内容について（該当科目のみ）

「ICT を活用した双方向型授業の内容」欄において該当する項目を選択してください。

参考画面（例：ICT を活用した双方向型授業の内容について）

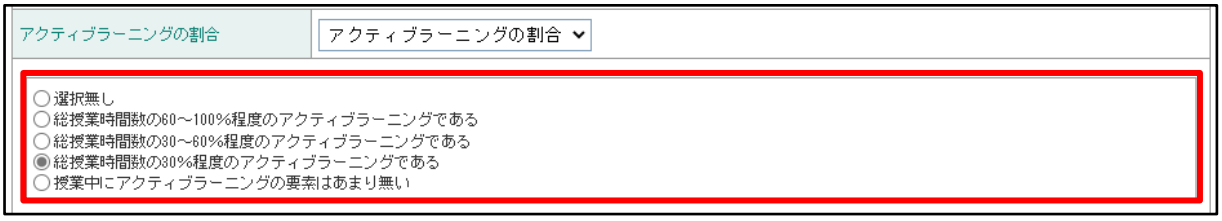


（9）アクティブラーニングについて（該当科目のみ）

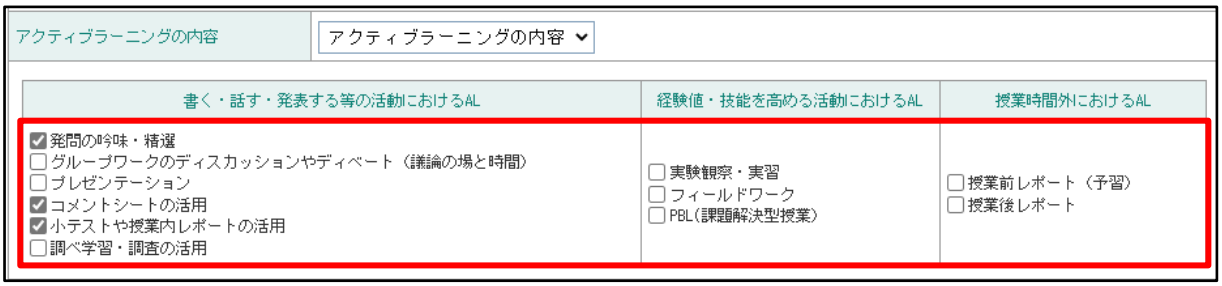
授業形態がアクティブラーニングに該当する割合を「アクティブラーニングの割合」欄から選択してください。

また、該当するアクティブラーニングの授業形態について、「アクティブラーニングの内容」欄より、該当する項目を選択してください。

参考画面（例：アクティブラーニングの割合）



参考画面（例：アクティブラーニングの内容）ニングの内容）

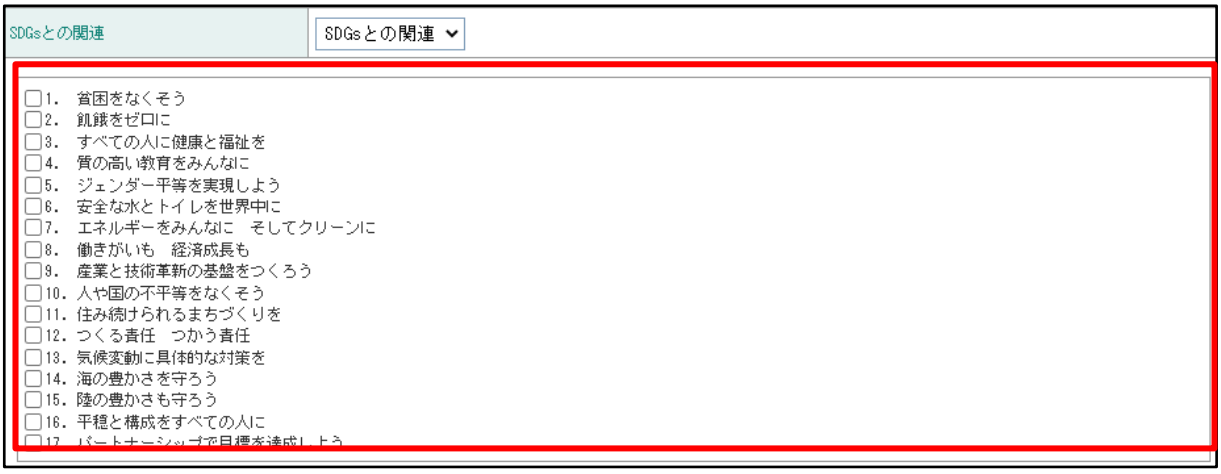


（10）SDGs との関連について

該当する項目について、「SDGs との関連」欄より選択してください。

原則、「4.質の高い教育をみんなに」を選択してください。

参考画面（例：SDGs との関連）



２.〔記入上の注意〕Web シラバス入力項目について

（１）基本事項（入力は不要です。）

項目名	説　　明
講義コード	学務システム上の講義コード
講義名	学則科目名称＋付加情報（クラス、通年、再履修など） 例）「英語 A1　c」・・・「英語 A1」の c クラス
副題	ナンバリング
開講責任部署	学部・学科名称
講義開講時期	前期／後期／通年
講義区分	講義／演習／実験・実習
基準単位数	
時間	（未使用）
代表曜日	
代表時限	
科目分類名	各学部カリキュラム表の大分類
科目分野名	各学部カリキュラム表の中小分類
対象学部・年次	対象学部・履修開始年次
必須／選択	必修／選択必修／選択
代表教員	複数担当の場合、代表教員に◎印をして表示します。

（２）授業内容（◎印の項目は必ず入力してください。）

入力項目	記入上の注意
◎授業の概要	授業の概要を記入してください。
◎授業の到達目標及びテーマ	この授業で学ぶことの意義、この授業でどのような知識・能力を身につけることができるかなどの到達目標を記載してください。その際、できるだけ学部・学科等の教育目標や他の授業科目との関連性のなかでの位置づけについても学生がイメージできるように記載してください。 到達目標については、学生の視点からの表現に努めてください。たとえば「〇〇について理解し、自分の考えを説明できるようになる」、「〇〇などの事例を分析できるようになる」など。

入力項目	記入上の注意
◎授業計画表	各回の詳細な授業計画を記載できます。（別画面入力） 授業計画は、半期 15 回分（通年科目は 30 回分）の授業計画を各回に具体的に記載してください。ただし、定期試験は授業回数に含まないのでご注意ください。 授業計画は、学生が受講科目を選択する上で重要な情報になるとともに、学生が予習・復習する上でも不可欠な情報となります。各回の授業内容をキーワード、教科書の該当ページ、参照資料、予習・復習の指示（学修時間の目安を含む）など、できるだけ具体的な学習内容を記載してください。 なお、卒論指導や研究ゼミナールなど授業形態によっては、上記のような具体化がそぐわない場合も予想されます。その際は「第〇回：研究テーマの検討」、「第〇回：研究計画の策定」など、指導スケジュールや研究目的など研究の進め方の手引きになるような内容を記載してください。 また、本欄に逐一記載することが不向きな場合（予習・復習の全般的指示など）は、「授業時間外の学修」などの欄もご活用ください。 資料の提示には、インターネット上のアドレスを提示することも可能です。 **授業回において担当教員が異なる場合は、各回の担当教員名のご記入をお願いします。**
◎授業時間外の学修	受講に際して前提となる予備知識や事前に履修しておくべき関連科目などを記載してください。 また、予習・復習等の具体的な内容（学修時間の目安を含む）にもご利用ください。
◎実務経験の有無 ・担当教員の実務経験内容（資格名：勤務年数） ・実務経験をいかした教育内容	担当教員等の実務経験について、当該授業科目を履修しようとする学生等にとって、「どのような実務経験を持つ教員等が、その実務経験を活かして、どのような教育を行うか」を理解できるかという視点に立ってご記入をお願いします。 **（別添 1_「実務経験のある教員等による授業科目の一覧表＜2024 年度＞（学科別）」参照）**
◎ディプロマポリシーとの関連	ディプロマポリシー（**別添 2「作新学院大学ディプロマポリシー」参照**）のどの事項を学ぶための科目か選択してください。
入力項目	記入上の注意
◎ルーブリック	**別添 3「共通ルーブリック集」を参考**として、科目に対するルーブリックを**コピー＆ペースト**で入力ください。

◎成績評価法（表形式）	定期試験、小テスト、成果発表、授業への貢献度、レポート、その他において、成績評価の割合をプルダウンから選択してください。 備考には成績評価の方法の詳細を記載してください。
◎課題へのフィードバック方法	課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法について、該当する項目をチェックしてください。
◎ICT を活用した双方向型授業の内容	ICT を活用した双方向型授業の内容について、該当する項目をチェックしてください。
◎アクティブラーニングの割合	アクティブラーニングの割合について該当する項目を選択してください。
◎アクティブラーニングの内容	アクティブラーニングの授業形態について、該当する項目をチェックしてください。
◎教科書	教科書を記載してください。 教科書使用の有無も含めて記載してください。
参考書	参考書を記載してください。
授業用 URL	授業で使用する URL の掲載にご利用ください。 http://～もしくは https://～の形式で入力します。
参考 URL 1～4	授業用 URL 以外にご利用ください。
◎SDGs との関連	該当する項目について、選択してください。 原則、「4.質の高い教育をみんなに」を選択してください。
特記事項等	その他補足事項があれば、ご利用ください。
入力項目	記入上の注意
学生へのメッセージ	学生へのメッセージを掲載したい場合にご利用ください。 「授業評価アンケート」で示された学生からの要望などに対するフィードバックに「学生へのメッセージ」欄をご活用ください。
◎研究室（訪問先等）	研究室や訪問先、出校日など、授業に関する問合せなどの面会方法について記載してください。
電話番号	電話番号の掲載にご利用ください。
授業用 Email	授業用 Email の掲載にご利用ください。

※データ入力の無い項目は、シラバス参照の際表示されません。

３．記入例　　※教員の入力・選択部分は青文字

【シラバス例 1】・・・予習・復習を毎回の授業計画表にも記載した例

講義名	経営情報論B		
（副題）	BB-BBA-2211		
開講責任部署	経営学部経営学科（大学）		
講義開講時期	後期	講義区分	
基準単位数	2.00	時間	
代表曜日	調整中	代表時限	調整中
科目分類名	専門教育科目		
科目分野名	学科共通科目		
対象学部・年次	経営学科・2 年～		
必須/選択	選択		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎□□　□□	指定なし

授業の概要	経営情報論の基礎、経営情報論の基礎理論、経営情報システムの変遷、情報通信技術の進展、経営情報システムの設計・開発について学修します。
授業の到達目標及びテーマ	（テーマ）経営情報の基礎理論 情報は、ヒト、モノ、カネと並ぶ重要な経営資源である。経営における情報は、企業の意志決定 ≪　中略　≫ 本講義では、経営情報論の基礎となる理論を概観し、企業活動と情報システムの関係、経営情報システムの変遷とその意味、経営の立場から見たシステム開発方法論について理解できるようになることを目標とします。
授業計画表	第 1 回：ガイダンス／経営情報論の基礎(1)情報社会の到来と企業経営（教科書 pp.1-11） **予習・復習〕スライド教材と教科書による復習（1hr）、予習（2hr）** 第 2 回：経営情報論の基礎(2)経営資源としての情報／経営情報論の意義（教科書 pp.11-28） **〔予習・復習〕スライド教材と教科書による復習（2hr）、第 1 章小テスト（1hr）、予習（2hr）** 第 3 回：経営情報論の基礎理論(1)経営組織論（教科書 pp.29-40） **〔予習・復習〕スライド教材と教科書による復習（2hr）、予習（2hr）** ≪　中略　≫ 第 15 回：経営情報システムの設計・開発(3)現代の情報システム開発方法論、組織戦略・事業戦略との融合（教科書 pp.126-135） **〔予習・復習〕スライド教材と教科書による復習（2hr）、期末試験用の課題準備（2hr）** 期末試験
授業時間外の学修	1 年次の「経営学総論」の修得が前提となりますが、特に予備知識がなくても理解できるように解説します。 各回の授業に臨むにあたり、授業計画に示した授業内容について教科書の該当ページの予習をしておくこと。授業で使用する教材や小テストは、WebClass のコースに掲載するので、教科書と合せて予習・復習に活用すること。**（毎回の予習・復習時間の目安は、週 3～5 時間です。）**

授業計画表に予習・復習のことを記載しても構いません。

実務経験のある教員による授業科目	
担当教員の実務経験内容（資格名：勤務年数）	
実務経験をいかした教育内容	

ディプロマポリシーとの関連

ディプロマポリシーとの関連	大学　学修成果

ディプロマポリシー①③ 自律学修能力の習得	ディプロマポリシー② 専門的知識・技術の習得	ディプロマポリシー④ 分析・論理構成・表現力の習得	ディプロマポリシー⑤⑥ 問題解決能力・協働性の獲得
○	◎	◎	○

ルーブリック

ルーブリック	授業別ルーブリック　評価項目３つ

評価項目	優秀（excellent）	平均(average)	途上(developing)	未達(unachieved)
理解度	授業内容を 100%理解しており、授業内容を超えた自主的な学修が行えていると認められる	授業内容をほぼ95%程度理解していて、自主的な学修も少し行えていると認められる	授業内容の理解はほぼ 75%程度であることが認められる	授業内容の理解は70%以下と判断できるため、レポートへの助言・新たな資料提供等の支援を行っている
課題解決能力	他からの支援を受けずに独自の能力で課題を解くことができるとともに、解法が定まらない他者に的確なアドバイスができる	基本的に他からの支援を受けずに独自の能力で課題を解くことができる	参考資料を参考にしたり他からの支援を少し受けながら自身の能力で課題を解くことができる	参考資料を参考にしたり他からの支援を受けたししてもなかなか自身の能力で課題を解くことが難しいので、できるだけ一緒に課題解決ができるよう支援している
レポート力（復習も含む）	テーマについて、授業で紹介した方法、もしくはそれに類する独自の手法を使った分析が十分になされている	テーマについて、授業で紹介した方法で分析が十分になされている	テーマについて、授業で紹介した方法で分析がなされている	テーマについての分析がなされていない

別添３「共通ルーブリック集」を参考にしてください。

成績評価法

成績評価法（表形式）	成績評価法

	評価基準	備考
定期試験	70%	
小テスト等	30%	
成果発表		
授業への貢献度		
レポート		
その他		

課題へのフィードバック方法

課題へのフィードバック方法	課題へのフィードバック方法

定期試験や小テストの結果について	課題（レポート等）について	模擬授業、プレゼン、発言等について
□授業の冒頭で解説、講評する ■掲示板等に正解と講評を掲載する □授業の中で解説、講評する □その都度解説、講評する	□授業の冒頭で解説、講評する □掲示板等に正解と講評を掲載する □授業の中で解説、講評する □その都度解説、講評する	□授業の冒頭で解説、講評する □掲示板等に正解と講評を掲載する □授業の中で解説、講評する □その都度解説、講評する

<table>
<tr><td>ICT を活用した双方型授業の内容</td><td>
<table><tr><td>ICT を活用した双方向型授業の内容</td><td>ICT を活用した双方向型授業の内容</td></tr></table>
■クリッカー、アンケート、小テスト等
□ビデオ会議システム
□チャット
□掲示板の活用
□メール等の活用
</td></tr>
<tr><td>アクティブラーニングの割合</td><td>
<table><tr><td>アクティブラーニングの割合</td><td>アクティブラーニングの割合</td></tr></table>
○総授業時間の 60～100%程度のアクティブラーニングである
○総授業時間の 30～60%程度のアクティブラーニングである
●総授業時間の 30%程度のアクティブラーニングである
○授業中にアクティブラーニングの要素はあまり無い
○選択無し
</td></tr>
<tr><td>アクティブラーニングの内容</td><td>
<table><tr><td>アクティブラーニングの内容</td><td>アクティブラーニングの内容</td></tr></table>
<table>
<tr><td>書く・話す・発表する等の活動における AL</td><td>経験値・技能を高める活動における AL</td><td>授業時間外における AL</td></tr>
<tr><td>□発問の吟味・精選
□グループワークのディスカッションやディベート（議論の場と時間）
□プレゼンテーション
□コメントシートの活用
■小テストや授業内レポートの活用
□調べ学習・調査の活用</td><td>□実務観察・実習
□フィールドワーク
□PBL（課題解決型授業）</td><td>□授業前レポート（予習）
□授業後レポート</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>教科書</td><td>遠山曉・村田潔・岸眞理子『経営情報論（新版補訂）』有斐閣アルマ,ISBN978-4-641-22057-7</td></tr>
<tr><td>参考書</td><td>「新経営学」研究会編『新経営学総論－経営学の新たな展開』学文社
宮川公男『経営情報システム第 2 版』中央経済社</td></tr>
<tr><td>授業用 URL</td><td>https://webclass.sakushin-u.ac.jp/webclass/login.php</td></tr>
<tr><td>参考 URL1～4</td><td></td></tr>
<tr><td>SDGs との関連</td><td>
<table><tr><td>SDGs との関連</td><td>SDGs との関連</td></tr></table>
<table>
<tr><td>□1. 貧困をなくそう
□2. 飢餓をゼロに
□3. 全ての人に健康と福祉を
■4. 質の高い教育をみんなに
□5. ジェンダー平等を実現しよう
□6. 安全な水とトイレを世界中に
□7. エネルギーをみんなに　そしてクリーンに
□8. 働きがいも　経済成長も
□9. 産業と技術革新の基盤をつくろう</td><td>□10. 人や国の不平等をなくそう
□11. 住み続けられるまちづくりを
□12. つくる責任　つかう責任
□13. 気候変動に具体的な対策を
□14. 海の豊かさを守ろう
□15. 陸の豊かさも守ろう
□16. 平和と公正をすべての人に
□17. パートナーシップで目標を達成しよう</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>特記事項等</td><td></td></tr>
<tr><td>学生へのメッセージ</td><td></td></tr>
<tr><td>研究室（訪問先等）</td><td>中央研究棟○階　○○○研究室</td></tr>
<tr><td>電話番号</td><td></td></tr>
<tr><td>授業用 E-mail</td><td>○○○○@sakushin-u.ac.jp</td></tr>
</table>

【シラバス例 2】・・・予習・復習を「授業時間外の学修」欄に記載した例

講義名	初級中国語1-1		
（副題）	ZA-LLC-211		
開講責任部署	人間文化学部発達教育学科（大学）		
講義開講時期	前期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	
代表曜日	調整中	代表時限	調整中
科目分類名	共通教育科目		
科目分野名	教養教育科目		
対象学部・年次	人間文化学部・1 年～		
必須/選択	選択		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎□□　□□	指定なし

授業の概要	この授業では、「読む」「書く」に特化して、初級中国語の基礎的事項について学習します。受講者は毎回提示される資料を自力で丁寧に読み、その後、同じく毎回提示される小テストや課題に解答します。翌週の授業時の冒頭で小テストや課題の解説を行い、それから新しい内容に入ります。授業はこの流れの繰り返しです。 前期の 15 週で受講生のみなさんが達成するのは、「HSK（漢語水平考試） 1 級に出題される 150 種の単語と簡単な表現をとりあえず見れば分かるようになる」です。「見れば分かる」というのは、日本語と中国語の意味が対応できるという程度です。
授業の到達目標及びテーマ	① 現在中国で使用されている全国共通の標準語である普通話（ﾌﾟｳｰﾄﾝﾎｱ）を学習する。 ② HSK（漢語水平考試）1 級で問われる 150 語程度の基礎常用中国語及びそれに相応する文法知識を学習し、中国語の非常に簡単な単語とフレーズを理解、使用できるようにする。 本科目は経営学科のディプロマポリシー「２.「共通教育科目」と経営学科配置の「専門教育科目」をバランス良く学修して、現代社会で通用する専門的な知識を身につけている」を達成するための科目です。
授業計画表	

第1回	ガイダンス　この授業で学習する「中国語」とは
第2回	いきなりですが 100 個の単語を覚えましょう
第3回	あいさつの仕方いろいろ
第4回	ことばの並べ方①　主語と述語　「話題」と「説明」
第5回	ことばの並べ方②　主語と述語と目的語　英語と比較しながら
第6回	ことばの並べ方③　否定と単純な疑問の言い方
第7回	数字を用いた表現①　単純な数字と「0」の使い方
第8回	数字を用いた表現②　年月日と曜日の言い方
第9回	数字を用いた表現③　時間の言い方
第 10 回	数字を用いた表現④　物事を数える言い方①
第 11 回	数字を用いた表現⑤　物事を数える言い方②
第 12 回	お金について　／　指示語「こ・そ・あ・ど」について
第 13 回	「～したい」の言い方
第 14 回	「～できる」「～できない」の言い方
第 15 回	「ある」「ない」「何の」「どんな」の言い方
定期試験	

授業時間外の学修	中国語の辞書に「中国語」という単語は載っているでしょうか･･･。中国語って「北京語」を指しているのでしょうか…。「いただきます」って中国語で何て言うのでしょう…。あれこれ想像していてください。 新しく学ぶ言語ですから予習の必要はありません。 毎回、授業終了時に内容確認の小テストを実施します。この小テストの内容を復習しておきましょう。 （毎回の学習時間の目安は１～２時間です。）

実務経験のある教員による授業科目	
担当教員の実務経験内容（資格名：勤務年数）	
実務経験をいかした教育内容	

ディプロマポリシーとの関連

ディプロマポリシーとの関連	大学　学修成果

ディプロマポリシー①③ 自律学習能力の習得	ディプロマポリシー② 専門的知識・技術の習得	ディプロマポリシー④ 分析・論理構成・表現力の習得	ディプロマポリシー⑤⑥ 問題解決能力・協調性の獲得
◎	◎	○	○

ルーブリック

ルーブリック	授業別ルーブリック　評価項目3つ

評価項目	優秀(excellent)	平均(average)	途上(developng)	未達(unachieved)
自主性・計画性・「自分事」の意識を持って行動しているか。	毎回の授業時に示される内容確認課題をすべて（～8割以上）期限内に提出している。	毎回の授業時に示される内容確認課題が期限内に7割以上8割未満で提出されている。	毎回の授業時に示される内容確認課題が期限内に６割以上７割未満で提出されている。	毎回の授業時に示される内容確認課題が期限内に４割以上６割未満の提出しかなされていない。
論理的思考に基づく、読み取る力、表現（再現）する力が備わっているか。	授業資料の内容、課題の指示内容を正確に読み取り、それに基づく「解答・回答」が正確で不備がない。	授業資料の内容、課題の指示内容をほぼ正確に読み取り、それに基づく「解答・回答」がほぼ正確で不備がない。	授業資料の内容、課題の指示内容を読み取れず、それに基づく「解答・回答」がやや不正確で不備が見られる。	授業資料の内容、課題の指示内容を読み取れず、反射的に「解答・回答」している。
想像・創造・発展を意識して行動しているか。	授業資料の内容、課題の指示内容を越えて調査考察したことがらや、自身の見解を、課題の「解答・回答」に表現している頻度が高い。	授業資料の内容、課題の指示内容を越えて調査考察したことがらや、自身の見解を、課題の「解答・回答」に表現する場合もある。	授業資料の内容、課題の指示内容を越えて調査考察したことがらや、自身の見解を、課題の「解答・回答」に表現する場合がない。	授業資料の内容、課題の指示内容を読み取らない。
倫理性を意識して課題解決・達成に結びつく行動をしているか。	※レポート、調査考察型の課題の場合 引用・参照元などを正確に明示している。	※レポート、調査考察型の課題の場合 引用・参照元などを示す際にやや不備がある。	※レポート、調査考察型の課題の場合 引用・参照元などを明示せず、自身の見解と混同している。	※レポート、調査考察型の課題の場合 ただのコピペ・盗作

成績評価法（表形式）

成績評価法（表形式）	成績評価法

	評価基準	備考
定期試験		
小テスト等	100%	「小テスト等」というのは、毎回の授業の課題を意味する。
成果発表		
授業への貢献度		
レポート		
その他		

<table>
<tr><td>課題へのフィードバック方法</td><td>
<table>
<tr><td>課題へのフィードバック方法</td><td>課題へのフィードバック方法</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td>定期試験や小テストの結果について</td><td>課題(レポート等)について</td><td>模擬授業、プレゼン、発言等について</td></tr>
<tr><td>授業の冒頭で解説、講評する</td><td>授業の冒頭で解説、講評する</td><td>その都度解説、講評する</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>ICT を活用した双方向型授業の内容</td><td>
<table>
<tr><td>ICT を活用した双方向型授業の内容</td><td>ICT を活用した双方向型授業の内容</td></tr>
</table>
□クリッカー、アンケート、小テスト等
□ビデオ会議システム
□チャット
□掲示板の活用
■メール等の活用
</td></tr>
<tr><td>アクティブラーニングの割合</td><td>
<table>
<tr><td>アクティブラーニングの割合</td><td>アクティブラーニングの割合</td></tr>
</table>
●総授業時間の 60～100%程度のアクティブラーニングである
○総授業時間の 30～60%程度のアクティブラーニングである
○総授業時間の 30%程度のアクティブラーニングである
○授業中にアクティブラーニングの要素はあまり無い
○選択無し
</td></tr>
<tr><td>アクティブラーニングの内容</td><td>
<table>
<tr><td>アクティブラーニングの内容</td><td>アクティブラーニングの内容</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td>書く・話す・発表する等の活動における AL</td><td>経験値・技能を高める活動における AL</td><td>授業時間外における AL</td></tr>
<tr><td>□発問の吟味・精選
□グループワークのディスカッションやディベート(議論の場と時間)
□プレゼンテーション
□コメントシートの活用
■小テストや授業内レポートの活用
■調べ学習・調査の活用</td><td>□実務観察・実習
□フィールドワーク
■PBL(課題解決型授業)</td><td>□授業前レポート(予習)
■授業後レポート</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>教科書</td><td>教科書は使用しない。PowerPoint で作製したスライド資料の pdf ファイル（音声、動画は含まない。話ことばを意識した文字主体の資料とする）を提示する。必要に応じて Word で作製した資料の pdf ファイルを提示する。</td></tr>
<tr><td>参考書</td><td>必要に応じて紹介する。</td></tr>
<tr><td>授業用 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>SDGs との関連</td><td>
<table>
<tr><td>SDGs との関連</td><td>SDGs との関連</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td>□1. 貧困をなくそう
□2. 飢餓をゼロに
□3. 全ての人に健康と福祉を
■4. 質の高い教育をみんなに
□5. ジェンダー平等を実現しよう
□6. 安全な水とトイレを世界中に
□7. エネルギーをみんなに　そしてクリーンに
□8. 働きがいも　経済成長も
□9. 産業と技術革新の基盤をつくろう</td><td>□10. 人や国の不平等をなくそう
□11. 住み続けられるまちづくりを
□12. つくる責任　つかう責任
□13. 気候変動に具体的な対策を
□14. 海の豊かさを守ろう
□15. 陸の豊かさも守ろう
□16. 平和と公正をすべての人に
□17. パートナーシップで目標を達成しよう</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

特記事項等	
学生へのメッセージ	
研究室（訪問先等）	中央研究棟〇階　〇〇〇研究室
電話番号	
授業用 Email	〇〇〇〇@sakushin-u.ac.jp
成績評価法	秀：毎回の授業時に示される内容確認課題をすべて期限内に提出し、その解答が正確でほぼ不備がなく、かつ自身の見解や、調べたことがらなどが追記されている場合。 優：毎回の授業時に示される内容確認課題が期限内に８割以上提出されていて、その解答が正確でほぼ不備がない場合。 良：毎回の授業時に示される内容確認課題が期限内に７割以上８割未満で提出されていて、その解答が正確でほぼ不備がない場合。 可：毎回の授業時に示される内容確認課題が期限内に６割以上７割未満提出されていて、その解答が正確でほぼ不備がない場合。 不可：毎回の授業時に示される内容確認課題が期限内に４割以上６割未満の提出しかなされていない場合。 無資格：上記、いずれにも該当しない場合。

４．参　考

■LMS（ラーニング・マネジメント・システム）「WebClass」の利用について

対面授業や遠隔授業での教材提供やテスト作成、レポート提出などを行う LMS 環境として、「WebClass」をご利用いただいております。

操作方法につきましては、以下の URL にてマニュアルを掲載していますので参考にしてください。また、Office365 の各機能は、これまで通りご利用可能です。

＜WebClass マニュアル（教員向け）＞

作大 WebClass マニュアル（教員向け）については、以下の場所よりダウンロードできますので、ご参照ください。

Teams>遠隔授業の実施に関する資料集（FD/SD 委員会）>00_WebClass マニュアル集
https://sakushinuac.sharepoint.com/:f:/s/FDSD/EmaSVL3E5RdFmgXclUcPoMoBE5mmgwTVKK3pY5x-Iv-3_A?e=2Moade

■単位数と学修時間（学則第 28 条の要約）

1 単位は、授業時間と授業時間外を合わせた 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成し、授業の方法に応じて、次の基準によって計算する。

(1) 講義及び演習については、15 時間から 30 時間までの範囲内の授業時間数をもって 1 単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30 時間から 45 時間までの範囲内の授業時間数をもって 1 単位とする。

したがって、授業時間外の学修時間（予習や復習等の時間）は次のようになります。

＜講義及び演習など 2 単位科目の場合＞

（全学修時間）		（授業時間 2 時間×15 週）		（授業時間外の学修時間 4 時間×15 週）
90 時間	－	30 時間	＝	60 時間

＜実験、実習及び実技など 1 単位科目の場合＞

（全学修時間）		（授業時間 2 時間×15 週）		（授業時間外の学修時間 1 時間×15 週）
45 時間	－	30 時間	＝	15 時間

別添一覧（参考資料）

別添 1「実務経験のある教員等による授業科目の一覧表 ＜2024 年度＞」
別添 2「作新学院大学ディプロマポリシー」
別添 2-2「女子短期大学部ディプロマポリシー」
別添 3「共通ルーブリック集」

問い合わせ先

■教務課（内容に関すること）
TEL:028-670-3642
MAIL: kyoum@sakushin-u.ac.jp

■情報センター（操作に関すること）
TEL:028-670-3616
MAIL: jyouho@sakushin-u.ac.jp

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表　＜2024 年度＞

※該当科目については、シラバスの「実務経験の有無」欄にもその旨を記載済

■経営学部　経営学科

科目分類	科目名	単位	授業形式
全学共通教育科目	現代社会の諸問題Ａ	2	銀行員が講師を担当
	現代社会の諸問題Ｂ	2	テーマ毎に企業・団体等からゲスト講師を招聘
経営学部共通科目	経営実践講座	2	テーマ毎にゲスト講師を招聘
	地域経営論	2	銀行員が講師を担当
	現代企業論Ａ	2	税理士が講師を担当
	企業と法Ａ	2	
	企業と法Ｂ	2	
経営学科専門科目	現代企業論Ｂ	2	税理士が講師を担当
	税法	2	
	会計実務演習	2	
合計単位数		20	

■経営学部　スポーツマネジメント学科

科目分類	科目名	単位	授業形式
全学共通教育科目	現代社会の諸問題Ａ	2	銀行員が講師を担当
	現代社会の諸問題Ｂ	2	テーマ毎に企業・団体等からゲスト講師を招聘
経営学部共通科目	経営実践講座	2	テーマ毎にゲスト講師を招聘
	地域経営論	2	銀行員が講師を担当
	現代企業論Ａ	2	税理士が講師を担当
スポーツマネジメント学科専門科目	スポーツビジネス論	2	テーマ毎にゲスト講師を招聘
	スポーツ医学	2	医師が講師を担当
	健康管理概論	2	
合計単位数		16	

■人間文化学部　発達教育学科

科目分類	科目名	単位	授業形式
全学共通教育科目	現代社会の諸問題Ａ	2	銀行員が講師を担当
	現代社会の諸問題Ｂ	2	テーマ毎に企業・団体等からゲスト講師を招聘
発達教育学科専門科目	教職初期指導	2	実務経験を有する教員が担当（校長経験者他初等中等教育における教員歴、臨床心理士、心理カウンセラー等）
	教職総合指導	2	
	生徒指導と進路指導（小・中・高）	2	
	総合的な学習に関する指導法（小・中・高）	2	
	小学校理科	2	
	小学校生活	2	
	小学校図画工作	2	
	国語科教育法（初等）	2	
	社会科教育法（初等）	2	
	理科教育法（初等）	2	
	図画工作科教育法（初等）	2	
	特別支援学校教育実習	2	
	知的障害児教育法1	2	
	知的障害児教育法2	2	
合計単位数		32	

■人間文化学部　心理コミュニケーション学科

科目分類	科目名	単位	授業形式
全学共通教育科目	現代社会の諸問題Ａ	2	銀行員が講師を担当
	現代社会の諸問題Ｂ	2	テーマ毎に企業・団体等からゲスト講師を招聘
心理コミュニケーション学科専門科目	臨床心理学概論	2	実務経験を有する教員が担当（臨床心理士、公認心理師、心理カウンセラー等）
	障害者・障害児心理学	2	
	発達心理学	2	
	心理的アセスメント	2	
	精神疾患とその治療	2	
	公認心理師の職責	2	
	健康・医療心理学	2	
合計単位数		18	

令和6年度　実務経験のある教員による授業科目の単位数

	作新学院大学女子短期大学部　幼児教育科
学科科目	66
合計	66
設置基準上の標準単位数	62

「実務経験のある教員による授業科目」として計上した授業科目の一覧

科目名	単位数	科目名	単位数
障害児保育	1	子どもの食と栄養	2
特別支援教育入門	1	子どもの健康と安全	1
臨床心理学	2	幼児と人間関係	2
教育相談	2	基礎教養Ⅰ	1
子どもの保健	2	基礎教養Ⅱ	1
社会的養護Ⅰ	2	子ども家庭支援の心理学	2
社会的養護Ⅱ	2	発達心理学	2
子ども家庭支援論	2	ライフデザイン	2
社会福祉	2	教育心理学	1
子ども家庭福祉	2	人間関係(指導法)	1
子育て支援	1	くらしとあそびⅠ	1
乳児保育Ⅰ	2	くらしとあそびⅡ	1
保育実習指導Ⅰ（施設）	1	幼稚園実習Ⅰ	2
保育実習指導Ⅰ（保育所）	1	幼稚園実習Ⅱ	2
保育実習指導Ⅱ	1	保育実習１（保育所）	2
保育実習指導Ⅲ	1	保育実習Ⅰ（施設）	2
英語Ⅰ	1	保育実習Ⅱ	2
英語Ⅱ	1	保育実習Ⅲ	2
保育者論	2	情報処理Ⅰ	1
保育・教職実践演習（幼）	2	情報処理Ⅱ	1
教育原理	2	地域福祉活動実践Ⅰ	1
	33	地域福祉活動実践Ⅱ	1
			33
			66

学修成果マトリックス　共通教育科目

1年次

	前期 No.	前期 科目	前期 学修成果 1	2	3	4	後期 No.	後期 科目	後期 学修成果 1	2	3	4
初期導入・リテラシー教育科目	ZA-ILB-11 1	基礎ゼミナール1	◎	○	◎	◎	ZA-ILB-11 2	基礎ゼミナール2	◎	○	◎	◎
	ZA-ILJ-11 1	日本語表現法1	○	○	◎	○	ZA-ILJ-21 1	日本語表現法2	○	○	◎	○
	ZA-ILC-11 1	コンピュータリテラシー1	○	○	◎	○	ZA-ILC-21 1	コンピュータリテラシー2	○	○	◎	○
	ZA-ILS-11 1	スポーツ科学実技A1	○	○	○	○	ZA-ILS-11 2	スポーツ科学実技A2	○	○	○	○
							ZA-ILI-11 1	キャリアデザイン1	◎	○	◎	◎
	ZA-ILE-11 1	英語A1（文法・語彙）	◎	○	◎	○	ZA-ILE-11 3	英語A2（文法・語彙）	◎	○	◎	○
	ZA-ILE-11 2	英語B1（コミュニケーション）	◎	○	◎	○	ZA-ILE-11 4	英語B2（コミュニケーション）	◎	○	◎	○
留学生	ZA-ILF-31 1a	日本語A1a	◎	○	◎	○	ZA-ILF-11 2a	日本語A2a	◎	○	◎	○
	ZA-ILF-31 1b	日本語A1b	◎	○	◎	○	ZA-ILF-11 2b	日本語A2b	◎	○	◎	○
	ZA-ILF-11 1	日本語B1	◎	○	◎	○	ZA-ILF-11 2	日本語B2	◎	○	◎	○
教養教育科目	ZA-LAJ-21 1	日本事情A（留学生必修）	○	◎	○	○	ZA-LAJ-21-2	日本事情B（留学生必修）	○	◎	○	○
	ZA-LAA-21 14	現代社会の諸問題A	○	◎	○	◎	ZA-LAA-21 19	とちぎ学	○	◎	○	◎
	ZA-LAA-21 13	健康スポーツ概論1	○	◎	○	○	ZA-LAA-21 9	憲法入門	○	◎	○	○
	ZA-LAA-21 4	数学	○	◎	◎	○	ZA-LAA-21 3	歴史学	○	◎	○	○
	ZA-LAA-21 1	哲学	○	◎	○	○	ZA-LAA-21 7	文学	○	◎	○	○
	ZA-LAA-21 2	心理学	○	◎	○	○	ZA-LAA-21 18	ジェンダー論	○	◎	○	○
	ZA-LLF-21 1	初級フランス語１－１	◎	○	◎	○	ZA-LLF-21 3	初級フランス語1-2	◎	○	◎	○
	ZA-LLF-21 2	初級フランス語２－１	◎	○	◎	○	ZA-LLF-21 4	初級フランス語2-2	◎	○	◎	○
	ZA-LLC-21 1	初級中国語１－１	◎	○	◎	○	ZA-LLC-21 3	初級中国語１－２	◎	○	◎	○
	ZA-LLC-21 2	初級中国語２－１	◎	○	◎	○	ZA-LLC-21 4	初級中国語２－２	◎	○	◎	○
	ZA-LLK-21 1	初級韓国語１－１	◎	○	◎	○	ZA-LLK-21 3	初級韓国語１－２	◎	○	◎	○
	ZA-LLK-21 2	初級韓国語２－１	◎	○	◎	○	ZA-LLK-21 4	初級韓国語２－２	◎	○	◎	○
	ZA-LAI-21 F1	自主科目A※	◎	○	◎	○	ZA-LAI-23 F4	海外研修A※	◎	○	◎	◎
	ZA-LAI-22 F2	自主科目B※	◎	○	◎	○	ZA-LAI-23 F5	海外研修B※	◎	○	◎	◎
	ZA-LAI-23 F3	自主科目C※	◎	○	◎	○	ZA-LAI-24 F6	海外研修C※	◎	○	◎	◎
							ZA-LAI-24 F7	海外研修D※	◎	○	◎	◎

2年次

	前期 No.	前期 科目	前期 学修成果 1	2	3	4	後期 No.	後期 科目	後期 学修成果 1	2	3	4
初期導入・リテラシー教育科目	ZA-ILS-21 1	スポーツ科学実技B	○	○	○	○	ZA-ILS-21 2	スポーツ科学実技C	○	◎	◎	◎
	ZA-ILI-12 1	プレインターンシップ	○	○	◎	◎	ZA-ILI-12-1	プレインターンシップ	○	○	◎	◎
	ZA-ILE12 1	英語A3（文法・語彙）	◎	○	◎	○	ZA-ILE-12 2	英語A4（文法・語彙）	◎	○	◎	○
	ZA-ILE12 3	英語B3（コミュニケーション）	◎	○	◎	○	ZA-ILE-12 4	英語B4（コミュニケーション）	◎	○	◎	○
留学生	ZA-ILF-12 1a	日本語A3a	◎	○	◎	○	ZA-ILF-12 2a	日本語A4a	◎	○	◎	○
	ZA-ILF-12 1b	日本語A3b	◎	○	◎	○	ZA-ILF-12 2b	日本語A4b	◎	○	◎	○
	ZA-ILF-12 1	日本語B3	◎	○	◎	○	ZA-ILF-12 2	日本語B4	◎	○	◎	○
教養教育科目									○	◎	◎	○
	ZA-LAA-21 15	現代社会の諸問題B	○	◎	○	◎	ZA-LAA-21 11	情報と社会	○	◎	◎	○
	ZA-LAA-21 10	マスコミ論	○	◎	○	○	ZA-LAA-21 17	環境論	○	◎	○	○
	ZA-LAA-21 5	統計学1	○	◎	◎	○	ZA-LAA-21 12	科学・技術論	○	◎	○	○
							ZA-LAA-21 8	デザイン論	○	◎	◎	○
	ZA-LLF-22 1	中級フランス語1	◎	○	◎	○	ZA-LLF-22 2	中級フランス語2	◎	○	◎	○
	ZA-LLC-22 1	中級中国語1	◎	○	◎	○	ZA-LLC-22 2	中級中国語2	◎	○	◎	○
	ZA-LLK-22 1	中級韓国語1	◎	○	◎	○	ZA-LLK-22 2	中級韓国語2	◎	○	◎	○
	ZA-LLE-22 1	英語C1	◎	○	◎	○	ZA-LLE-22 4	英語C2	◎	○	◎	○
	ZA-LLE-22 2	英語D1	◎	○	◎	○	ZA-LLE-11 5	英語D2	◎	○	◎	○
	ZA-LLE-11 3	英語E1	◎	○	◎	○	ZA-LLE-11 6	英語E2	◎	○	◎	○

3年次

	前期 No.	前期 科目	前期 学修成果 1	2	3	4	後期 No.	後期 科目	後期 学修成果 1	2	3	4
初・リ科目	ZA-ILI-13 1	キャリアデザイン2	◎	○	◎	◎	ZA-ILI-13 1	キャリアデザイン2	◎	○	◎	◎
	ZA-ILI-23 1	インターンシップ	◎	◎	◎	◎	ZA-ILI-23 1	インターンシップ	◎	◎	◎	◎
教養教育科目	ZA-LAA-21 6	統計学2	◎	○	◎	◎						
	ZA-LAA-21 16	現代社会の諸問題C	○	◎	○	◎						

「※」がついた科目は、履修年次の制限がありません。

1 ディプロマポリシー①③　自律学習能力
2 ディプロマポリシー②　専門知識・技術
3 ディプロマポリシー④　分析・論理構成・表現力
4 ディプロマポリシー⑤⑥　問題解決能力・協働性

学修成果マトリックス　経営学科

1年次

分野別科目	前期 No.	前期 科目	学修成果 1	2	3	4	後期 No.	後期 科目	学修成果 1	2	3	4
学部共通科目	BB-BAL-11 1	経営学総論A	○	◎	○	○	BB-BAL-11 5	経営学総論B	○	◎	○	○
	BB-BAL-11 2	経済学総論	○	◎	○	○	BB-BAL-31 1	生涯スポーツ論	○	◎	○	◎
	BB-BAL-11 3	会計学総論A	○	◎	◎	○	BB-BAL-11 6	会計学総論B	○	◎	◎	○
	BB-BAL-11 4	フィールドワークA	○	○	◎	◎						
学科共通科目												
ビジネスマネジメント分野												
会計・情報マネジメント分野												
コミュニティマネジメント分野												
研究ゼミナール												

2年次

分野別科目	前期 No.	前期 科目	学修成果 1	2	3	4	後期 No.	後期 科目	学修成果 1	2	3	4
学部共通科目	BB-BAL-12 1	経営管理論A	○	◎	○	○	BB-BAL-12 4	経営実践講座	○	◎	◎	◎
	BB-BAL-12 2	公共経営論A	○	◎	○	◎	BB-BAL-32 11	経営戦略論	○	◎	○	○
	BB-BAL-12 3	現代企業論A	○	◎	○	○	BB-BAL-32 7	地域経営論	○	◎	○	◎
	BB-BAL-32 1	フィールドワークB	○	○	◎	◎	BB-BAL-32 15	簿記論B	○	◎	◎	○
	BB-BAL-32 2	マーケティング論A	○	◎	◎	◎						
	BB-BAL-32 12	ﾋｭｰﾏﾝﾘｿｰｽ･ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄA	○	◎	○	◎						
	BB-BAL-32 4	財務諸表論A	○	◎	◎	○						
	BB-BAL-32 5	経営情報論A	○	◎	◎	○						
	BB-BAL-32 6	簿記論A	○	◎	◎	○						
	BB-BAL-32 17	統計処理入門	○	◎	◎	○						
学科共通科目	BB-BBA-22 1	企業経営史	○	◎	○	○	BB-BBA-22 13	公共経営論B	○	◎	○	◎
	BB-BBA-22 8	経営組織論A	○	◎	○	○	BB-BBA-22 3	財務諸表論B	○	◎	◎	○
	BB-BBA-22 14	観光概論	○	◎	○	○	BB-BBA-22 11	経営情報論B	○	◎	◎	○
							BB-BBA-22 10	管理会計論	○	◎	◎	○
ビジネスマネジメント分野							BB-BBM-22 1	経営管理論B	○	◎	○	○
							BB-BBM-22 2	現代企業論B	○	◎	○	○
							BB-BBM-22 3	経営組織論B	○	◎	○	○
							BB-BBM-22 5	ﾋｭｰﾏﾝﾘｿｰｽ･ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄB	○	◎	○	◎
会計・情報マネジメント分野	BB-BFI-22 1	税務会計論A	○	◎	◎	○	BB-BFI-22 2	税務会計論B	○	◎	◎	○
							BB-BFI-22 3	情報システム基礎	○	◎	○	◎
							BB-BFI-22 4	データベース概論	○	◎	○	○
コミュニティマネジメント分野	BB-BCM-22 1	財政マネジメント論	○	◎	◎	○	BB-BCM-22 2	公民パートナーシップ論	○	◎	○	◎
研究ゼミナール	BB-BRS-12 1	研究ゼミナール1	◎	◎	◎	○	BB-BRS-12 2	研究ゼミナール2	◎	◎	◎	○

3年次

分野別科目	前期 No.	前期 科目	学修成果 1	2	3	4	後期 No.	後期 科目	学修成果 1	2	3	4
学部共通科目	BB-BAL-32 16	企業と法A	○	◎	○	◎	BB-BAL-32 9	企業と法B	○	◎	○	◎
	BB-BAL-32 10	ビジネスイングリッシュA	○	◎	◎	○	BB-BAL-32 18	ビジネスイングリッシュB	○	◎	◎	○
	BB-BAL-32 3	ベンチャー起業論	◎	◎	◎	◎	BB-BAL-32 8	アグリビジネス論	○	◎	○	◎
	BB-BAL-32 13	グローバル経営論	○	◎	○	○						
	BB-BAL-32 14	金融論	○	◎	○	○						
学科共通科目	BB-BBA-22 6	公共政策論	○	◎	○	◎	BB-BBA-22 9	コーポレート･ファイナンス	○	◎	○	◎
	BB-BBA-22 4	経営分析論	○	◎	◎	○	BB-BBA-22 12	情報社会の法制度	○	◎	○	◎
	BB-BBA-22 2	企業の社会的責任	○	◎	○	◎	BB-BBA-22 15	職業指導B	○	◎	○	◎
	BB-BBA-22 5	情報政策論	○	◎	◎	◎						
	BB-BBA-22 7	職業指導A	○	◎	○	◎						
ビジネスマネジメント分野	BB-BBM-22 4	生産システム論	○	◎	○	○	BB-BBM-22 6	マーケティング論B	○	◎	◎	◎
	BB-BBM-23 1	流通論	○	◎	○	◎	BB-BBM-23 2	技術経営論（MOT）	○	◎	○	○
							BB-BBM-23 3	サプライチェーン・マネジメント	○	◎	○	◎
会計・情報マネジメント分野	BB-BFI-23 1	税法	○	◎	○	◎	BB-BFI-23 2	原価計算論	○	◎	◎	○
	BB-BFI-22 5	情報ネットワーク論	○	◎	○	◎	BB-BFI-23 6	経営工学	○	◎	○	◎
	BB-BFI-23 4	ｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞｼｽﾃﾑ概論	○	◎	○	○	BB-BFI-23 5	情報システム設計	○	◎	◎	○
	BB-BFI-22 6	プログラミング演習1	○	◎	◎	○	BB-BFI-23 7	プログラミング演習2	○	◎	◎	○
コミュニティマネジメント分野	BB-BCM-23 1	地域福祉論	○	◎	○	◎	BB-BCM-23 2	公共事業論	○	◎	○	◎
	BB-BCM-22 3	コミュニティビジネス論	○	◎	○	◎	BB-BCM-22 4	NPOマネジメント論	○	◎	○	◎
研究ゼミナール	BB-BRS-13 1	研究ゼミナール3	◎	◎	◎	○	BB-BRS-13 2	研究ゼミナール4	◎	◎	◎	○

4年次

分野別科目	前期 No.	前期 科目	学修成果 1	2	3	4	後期 No.	後期 科目	学修成果 1	2	3	4
ビジネスマネジメント分野	BB-BBM-23 4	インターネットビジネス論	○	◎	◎	◎						
会計・情報マネジメント分野	BB-BFI-23 3	会計実務演習	○	◎	◎	◎						
	BB-BFI-23 8	プログラミング演習3	○	◎	◎	○						
コミュニティマネジメント分野	BB-BCM-23 3	栃木地域政策研究a	○	◎	◎	◎	BB-BCM-23 4	栃木政策研究b	○	◎	◎	◎
	BB-BCM-23 5	観光マーケティング論	○	◎	○	◎						
研究ゼミナール	BB-BRS-14 1	研究ゼミナール5	◎	◎	◎	○	BB-BRS-14 2	研究ゼミナール6	◎	◎	◎	○

1 ディプロマポリシー①③　自律学習能力
2 ディプロマポリシー②　専門知識・技術
3 ディプロマポリシー④　分析・論理構成・表現力
4 ディプロマポリシー⑤⑥　人間性・協働性

学修成果マトリックス　スポーツマネジメント学科

1年次

	前期 No.	前期 科目	前期 学修成果 1	2	3	4	後期 No.	後期 科目	後期 学修成果 1	2	3	4
学部共通科目	BB-BAL-11 1	経営学総論A	○	◎	○	○	BB-BAL-11 5	経営学総論B	○	◎	○	○
	BB-BAL-11 2	経済学総論	○	◎	○	○	BB-BAL-31 1	生涯スポーツ論	○	◎	○	◎
	BB-BAL-11 3	会計学総論A	○	◎	◎	○	BB-BAL-11 6	会計学総論B	○	◎	◎	○
	BB-BAL-11 4	フィールドワークA	○	○	◎	◎						
スポーツマネジメント科目	BS-SSM-11 1	スポーツマネジメント論	○	◎	○	○	BS-SSM-11 2	スポーツと社会科学	○	◎	○	○
							BS-SSM-11 3	スポーツと政策論	○	◎	○	◎
研究ゼミナール												
卒業所要単位外科目												

2年次

	前期 No.	前期 科目	前期 学修成果 1	2	3	4	後期 No.	後期 科目	後期 学修成果 1	2	3	4
学部共通科目	BB-BAL-12 1	経営管理論A	○	◎	○	○	BB-BAL-12 4	経営実践講座	○	◎	◎	◎
	BB-BAL-12 2	公共経営論A	○	◎	○	◎	BB-BAL-32 11	経営戦略論	○	◎	○	○
	BB-BAL-12 3	現代企業論A	○	◎	○	○	BB-BAL-32 7	地域経営論	○	◎	○	◎
	BB-BAL-32 1	フィールドワークB	○	○	◎	◎	BB-BAL-32 15	簿記論B	○	◎	◎	○
	BB-BAL-32 2	マーケティング論A	○	◎	◎	◎						
	BB-BAL-32 12	ﾋｭｰﾏﾝﾘｿｰｽ･ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄA	○	◎	○	◎						
	BB-BAL-32 4	財務諸表論A	○	◎	◎	○						
	BB-BAL-32 5	経営情報論A	○	◎	◎	○						
	BB-BAL-32 6	簿記論A	○	◎	◎	○						
	BB-BAL-32 17	統計処理入門	○	◎	◎	○						
スポーツマネジメント科目	BS-SSM-22 1	スポーツマーケティング論	○	◎	○	○	BS-SSM-22 3	スポーツビジネス論	○	◎	○	○
	BS-SSM-22 4	スポーツ組織論	○	◎	○	◎	BS-SSM-23 1	スポーツ施設管理論	○	◎	○	◎
	BS-SSM-22 2	スポーツ産業論	○	◎	○	○	BS-SSM-22 5	スポーツサービス論	○	◎	○	◎
	BS-SSM-22 9	発育発達論	○	◎	○	◎	BS-SSM-22 8	スポーツ心理学	○	◎	○	◎
							BS-SSM-22 15	健康管理概論	○	◎	◎	◎
							BS-SSM-22 11	スポーツ生理学	○	◎	○	○
研究ゼミナール	BB-BRS-12 1	研究ゼミナール1	◎	◎	◎	○	BB-BRS-12 2	研究ゼミナール2	◎	◎	◎	○
卒業所要単位外科目							BS-SOP-22 F	救急処置法実習	○	◎	◎	◎
							BS-SOP-22 F	コンディショニング実習	○	◎	◎	◎

3年次

	前期 No.	前期 科目	前期 学修成果 1	2	3	4	後期 No.	後期 科目	後期 学修成果 1	2	3	4
学部共通科目	BB-BAL-32 16	企業と法A	○	◎	○	◎	BB-BAL-32 9	企業と法B	○	◎	○	◎
	BB-BAL-32 10	ビジネスイングリッシュA	○	◎	◎	○	BB-BAL-32 18	ビジネスイングリッシュB	○	◎	◎	○
	BB-BAL-32 3	ベンチャー起業論	◎	◎	◎	◎	BB-BAL-32 8	アグリビジネス論	○	◎	○	◎
	BB-BAL-32 13	グローバル経営論	○	◎	○	○						
	BB-BAL-32 14	金融論	○	◎	○	○						
スポーツマネジメント科目	BS-SSM-23 2	スポーツと地域社会	○	◎	○	◎	BS-SSM-23 3	スポーツツーリズム	○	◎	○	◎
	BS-SSM-22 6	スポーツマネジメント演習A	○	◎	◎	◎	BS-SSM-23 4	スポーツマネジメント演習B	○	◎	◎	◎
	BS-SSM-22 10	スポーツビジネスコーチング論A	○	◎	◎	◎	BS-SSM-23 5	スポーツビジネスコーチング論B	○	◎	◎	◎
	BS-SSM-22 14	トレーニング論	○	◎	◎	○	BS-SSM-22 17	測定評価理論	○	◎	◎	○
	BS-SSM-22 13	スポーツ栄養学	○	◎	○	○	BS-SSM-22 16	機能解剖学	○	◎	○	○
	BS-SSM-22 12	スポーツ医学	○	◎	○	○						
研究ゼミナール	BB-BRS-13 1	研究ゼミナール3	◎	◎	◎	○	BB-BRS-13 2	研究ゼミナール4	◎	◎	◎	○
卒業所要単位外科目	BS-SOP-22 F	測定評価実習					BS-SOP-22 F	エアロビクス運動実習				
	BS-SOP-22 F	水泳実習										

4年次

	前期 No.	前期 科目	前期 学修成果 1	2	3	4	後期 No.	後期 科目	後期 学修成果 1	2	3	4
スポーツマネジメント科目	BS-SSM-22 7	スポーツマネジメント演習C	○	◎	◎	◎						
	BS-SSM-22 18	スポーツバイオメカニクス	○	◎	◎	○						
研究ゼミナール	BB-BRS-14 1	研究ゼミナール5	◎	◎	◎	○	BB-BRS-14 2	研究ゼミナール6	◎	◎	◎	○

1 ディプロマポリシー①③　自律学習能力
2 ディプロマポリシー②　専門知識・技術
3 ディプロマポリシー④　分析・論理構成・表現力
4 ディプロマポリシー⑤⑥　人間性・協働性

学修成果マトリックス　発達教育学科

1年次

	前期 No.	前期 科目	前期 学修成果 1	2	3	4	後期 No.	後期 科目	後期 学修成果 1	2	3	4
教育の基礎的理解に関する科目①	HD-DEL-11 1	教職論(小・中・高)	○	◎	○	◎	HD-DEL-11 2	教育原理(小・中・高)	○	◎	○	◎
	HD-DEL-11 3	教育心理学(小・中・高)	○	◎	○	◎						
上記① 関連科目							HD-DEL-11 8	特別支援教育総論	○	◎	○	◎
							HD-DEL-11 11	特別支援教育基礎(小・中・高)	○	◎	○	◎
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目												
教育実践に関する科目							HD-DEL-21 6	教職初期指導	○	◎	◎	○
教科に関する専門的事項・各教科の指導法 初等教育	HD-DEL-11 6	小学校算数	○	◎	○	○	HD-DEL-11 4	小学校国語(書写を含む)	○	◎	◎	○
	HD-DEL-11 7	小学校理科	○	◎	○	○	HD-DEL-11 9	算数科教育法(初等)	○	◎	◎	○
							HD-DEL-11 5	小学校社会	○	◎	○	○
							HD-DEL-11 10	理科教育法	○	◎	◎	○
							HD-DEL-11 8	小学校外国語(英語)				
特別支援教育に関する科目												
教科に関する専門的事項・各教科の指導法 中・高 国語	HD-DHI-11 1	日本語学概論A	○	◎	○	○	HD-DHI-11 5	日本語学概論B	○	◎	○	○
	HD-DHI-11 2	日本文学史A	○	◎	○	○	HD-DHI-11 6	日本文学史B	○	◎	○	○
	HD-DHI-11 3	漢文学概論A	○	◎	○	○	HD-DHI-11 7	漢文学概論B	○	◎	○	○
教育実践に関する科目 中・高												
学部共通専門科目												

2年次

	前期 No.	前期 科目	前期 学修成果 1	2	3	4	後期 No.	後期 科目	後期 学修成果 1	2	3	4
教育の基礎的理解に関する科目①	HD-DEL-12 1	教育の制度と社会(小・中・高)	○	◎	○	○	HD-DEL-12 5	教育課程論(小・中・高)	○	◎	○	○
上記① 関連科目	HD-DEL-12 9	発達心理学	○	◎	○	○	HD-DEL-12 11	知的障害児教育総論	○	◎	○	○
	HD-DEL-12 12	知的障害の発達心理学	○	◎	○	○						
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目	HD-DEL-12 4	教育方法論(小・中・高)	○	◎	◎	○	HD-DEL-12 7	教育相談(小・中・高)	○	◎	○	○
教育実践に関する科目												
教科に関する専門的事項・各教科の指導法 初等教育	HD-DEL-12 9	国語科教育法	○	◎	◎	○	HD-DEL-21 2	小学校音楽	○	◎	◎	○
	HD-DEL-21 5	小学校体育	○	◎	○	○	HD-DEL-22 5	体育科教育法(初等)	○	◎	◎	○
	HD-DEL-12 10	社会科教育法	○	◎	◎	○	HD-DEL-11 11	小学校生活	○	◎	○	○
	HD-DEL-21 3	小学校図画工作	○	◎	◎	○	HD-DEL-22 3	図画工作教育法(初等)	○	◎	◎	○
特別支援教育に関する科目	HD-DSE-22 1	知的障害児・者心理学	○	◎	○	○	HD-DSE-22 7	知的障害児・者生理心理学	○	◎	○	○
	HD-DSE-22 2	知的障害児の認知心理学	○	◎	○	○	HD-DSE-22 10	発達障害児の心理と教育	○	◎	○	○
	HD-DSE-22 4	病弱教育	○	◎	○	○	HD-DSE-22 8	視覚障害教育	○	◎	○	○
教科に関する専門的事項・各教科の指導法 中・高 国語	HD-DHI-21 8	日本語文法A	○	◎	○	○	HD-DHI-21 9	日本語文法B	○	◎	○	○
	HD-DHI-22 5	日本文学史C	○	◎	○	○	HD-DHI-22 6	日本文学史D	○	◎	○	○
	HD-DHI-22 3	日本近代文学研究A	○	◎	○	○	HD-DHI-22 4	日本近代文学研究B	○	◎	○	○
	HD-DHI-11 4	書道A	○	◎	◎	○	HD-DHI-21 10	書道B	○	◎	◎	○
	HD-DHI-22 11	国語科教育法1	○	◎	◎	○	HD-DHI-22 12	国語科教育法2	○	◎	◎	○
教育実践に関する科目 中・高												
学部共通専門科目	HD-HAL-12 1	専門演習A	◎	○	◎	○	HD-HAL-12 2	専門演習B	◎	○	◎	○

3年次

	前期 No.	前期 科目	前期 学修成果 1	2	3	4	後期 No.	後期 科目	後期 学修成果 1	2	3	4
教育の基礎的理解に関する科目①												
上記① 関連科目							HD-DEL-21 7	生涯学習論	○	◎	○	○
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目	HD-DEL-12 2	道徳指導法(小・中・高)	○	◎	◎	◎	HD-DEL-12 8	総合的な学習に関する指導法(小・中・高)	○	◎	◎	○
	HD-DEL-12 3	特別活動の指導法(小・中・高)	○	◎	◎	○						
	HD-DEL-12 6	生徒指導と進路指導(小・中・高)	○	◎	◎	◎						
教育実践に関する科目	HD-DEL-12 13	教職総合指導	○	◎	◎	○	HD-DEL-23 1	教職実践研究(小・中・高))	○	◎	◎	○
							HD-DEL-23 2	教育実習事前事後指導(小)	○	◎	◎	◎
							HD-DEL-23 3	小学校教育実習	◎	◎	◎	◎
教科に関する専門的事項・各教科の指導法 初等教育	HD-DEL-22 2	音楽科教育法(初等)	○	◎	◎	○	HD-DEL-22 4	家庭科教育法(初等)	○	◎	◎	○
	HD-DEL-21 4	小学校家庭	○	◎	◎	○						
	HD-DEL-22 1	生活科教育法	○	◎	◎	○						
特別支援教育に関する科目	HD-DSE-23 1	知的障害児教育法①	○	◎	◎	◎	HD-DSE-23 2	知的障害児教育法②	○	◎	◎	◎
	HD-DSE-23 3	聴覚障害者教育総論	○	◎	○	○	HD-DSE-22 11	知的障害児教育課程論	○	◎	○	○
	HD-DSE-22 6	言語障害教育	○	◎	○	○	HD-DSE-22 9	肢体不自由者教育総論	○	◎	○	○
	HD-DSE-22 5	重複障害教育	○	◎	○	○			○	◎	○	○
教科に関する専門的事項・各教科の指導法 中・高 国語	HD-DHI-22 9	日本人の言語史A	○	◎	○	○	HD-DHI-22 10	日本人の言語史B	○	◎	○	○
	HD-DHI-22 1	日本古典文学研究A	○	◎	○	○	HD-DHI-22 2	日本古典文学研究B	○	◎	○	○
	HD-DHI-22 7	日本近代文学研究C	○	◎	○	○	HD-DHI-22 8	日本近代文学研究D	○	◎	○	○
	HD-DHI-23 1	国語科教育法3	○	◎	◎	○	HD-DHI-12 1	文章表現法	○	○	◎	○
							HD-DHI-23 2	国語科教育法4	○	◎	◎	○
教育実践に関する科目 中・高												
学部共通専門科目	HD-HAL-13 1	専門演習C	◎	○	◎	○	HD-HAL-13 1	専門演習D	◎	○	◎	○

4年次

	前期 No.	前期 科目	前期 学修成果 1	2	3	4	後期 No.	後期 科目	後期 学修成果 1	2	3	4
教育の基礎的理解に関する科目①												
上記① 関連科目												
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目												
教育実践に関する科目							HD-DEL-14 1	教職実践演習(小・中・高)	○	◎	◎	○
教科に関する専門的事項・各教科の指導法 初等教育												
特別支援教育に関する科目	HD-DSE-24 1	特別支援学校教育実習事前事後指導	○	◎	◎	◎						
	HD-DSE-24 2	特別支援学校教育実習	◎	◎	◎	◎						
教科に関する専門的事項・各教科の指導法 中・高 国語												
教育実践に関する科目 中・高	HD-DHI-24 1	教育実習事前事後指導(中・高)	○	◎	◎	◎						
	HD-DJH-24 1	中学校教育実習	◎	◎	◎	◎						
	HD-DHI-24 2	高等学校教育実習	◎	◎	◎	◎						
学部共通専門科目	HD-HAL-14 1	卒論指導演習1	◎	◎	◎	○	HD-HAL-14 2	卒論指導演習2	◎	◎	◎	○
							HD-HAL-14 3	卒業論文	◎	◎	◎	○

1　ディプロマポリシー①③　自律学習能力
2　ディプロマポリシー②　専門知識・技術
3　ディプロマポリシー④　分析・論理構成・表現力
4　ディプロマポリシー⑤⑥　人間性・協働性

学修成果マトリックス　心理コミュニケーション学科

1年次

		前期 No.	前期 科目	前期 学修成果 1	2	3	4	後期 No.	後期 科目	後期 学修成果 1	2	3	4
心理学系科目	心理学基礎科目	HP-HPP-11 1	心理学概論	○	◎	○	○	HP-HPP-21 3	心理学研究法	○	◎	○	○
		HP-HPP-11 2	臨床心理学概論	○	◎	○	○	HP-HPP-21 4	心理学統計法	○	◎	◎	○
	基礎心理学												
	実践心理学												
	心理学関連科目												
	実習演習科目												
コミュニケーション系科目	言語・文化系科目	HP-HPC-21 1	日本語学概論A	○	◎	○	○	HP-HPC-21 7	日本語学概論B	○	◎	○	○
		HP-HPC-21 6	漢字・漢語と社会	○	◎	○	○	HP-HPC-21 10	漢字・漢語と文化	○	◎	○	○
								HP-HPC-21 9	英語圏の文化	○	◎	○	○
	社会学系科目	HP-HPC-21 4	社会学概論	○	◎	○	○						
		HP-HPC-21 5	社会調査法	○	◎	◎	○						
	学部共通専門科目												

2年次

		前期 No.	前期 科目	前期 学修成果 1	2	3	4	後期 No.	後期 科目	後期 学修成果 1	2	3	4
心理学系科目	心理学基礎科目	HP-HPP-22 1	心理学実験A	○	◎	◎	◎	HP-HPP-22 3	心理学実験B	○	◎	◎	◎
		HP-HPP-22 2	公認心理師の職責	○	◎	○	◎						
	基礎心理学	HP-HPP-22 4	知覚・認知心理学A	○	◎	○	○	HP-HPP-22 11	知覚・認知心理学B	○	◎	○	○
		HP-HPP-22 5	学習・言語心理学A	○	◎	○	○	HP-HPP-22 12	学習・言語心理学B	○	◎	○	○
		HP-HPP-22 8	発達心理学	○	◎	○	○	HP-HPP-22 15	障害者・障害児心理学	○	◎	○	◎
		HP-HPP-22 6	感情・人格心理学	○	◎	○	◎	HP-HPP-22 14	社会・集団・家族心理学	○	◎	○	◎
	実践心理学												
	心理学関連科目							HP-HPP-22 17	精神疾患とその治療	○	◎	○	○
	実習演習科目												
コミュニケーション系科目	言語・文化系科目	HP-HPC-21 2	日本語文法A	○	◎	◎	○	HP-HPC-21 8	日本語文法B	○	◎	◎	○
		HP-HPC-22 4	日本人の言語史A	○	◎	○	○	HP-HPC-22 8	日本人の言語史B	○	◎	○	○
		HP-HPC-21 3	英文法	○	◎	◎	○	HP-HPC-22 9	英語表現法	○	◎	◎	○
								HP-HPC-22 7	異文化関係論	○	◎	○	○
	社会学系科目	HP-HPC-22 2	社会的自我論	○	◎	○	◎	HP-HPC-22 13	社会教育論	○	◎	○	○
		HP-HPC-22 3	ネット社会のコミュニケーション	○	◎	○	○	HP-HPC-22 11	ネット社会の人と組織	○	◎	○	○
									調査データ論	○	◎	◎	○
	学部共通専門科目	HP-HAL-12 1	専門演習A	◎	○	◎	○	HP-HAL-12 2	専門演習B	◎	○	◎	○

3年次

		前期 No.	前期 科目	前期 学修成果 1	2	3	4	後期 No.	後期 科目	後期 学修成果 1	2	3	4
心理学系科目	心理学基礎科目												
	基礎心理学	HP-HPP-22 9	心理学的アセスメント	○	◎	◎	○	HP-HPP-22 16	心理学的支援法	○	◎	◎	◎
		HP-HPP-22 7	神経・生理心理学A	○	◎	○	○	HP-HPP-22 13	神経・生理心理学B	○	◎	○	○
	実践心理学	HP-HPP-23 1	健康・医療心理学	○	◎	○	○	HP-HPP-23 6	司法・犯罪心理学	○	◎	○	○
		HP-HPP-23 2	福祉心理学	○	◎	○	◎	HP-HPP-23 7	産業・組織心理学	○	◎	○	◎
		HP-HPP-23 3	教育・学校心理学	○	◎	○	◎						
	心理学関連科目	HP-HPP-22 10	人体の構造と機能及び疾病	○	◎	○	○						
		HP-HPP-23 4	関係行政論	○	◎	○	◎						
	実習演習科目	HP-HPP-23 5	心理演習	◎	◎	◎	◎	HP-HPP-23 8	心理実習A	◎	◎	◎	◎
コミュニケーション系科目	言語・文化系科目	HP-HPC-22 1	対照言語学	○	◎	◎	○	HP-HPC-22 5	日本人の精神史	○	◎	○	○
								HP-HPC-22 6	文章表現法	○	◎	◎	○
	社会学系科目							HP-HPC-22 10	地域情報論	○	◎	○	◎
	学部共通専門科目	HP-HAL-13 1	専門演習C	◎	○	◎	○	HP-HAL-13 2	専門演習D	◎	○	◎	○

4年次

		前期 No.	前期 科目	前期 学修成果 1	2	3	4	後期 No.	後期 科目	後期 学修成果 1	2	3	4
心理学系科目	心理学基礎科目												
	基礎心理学												
	実践心理学												
	心理学関連科目												
	実習演習科目	HP-HPP-24 1	心理実習B	◎	◎	◎	◎						
コミュニケーション系科目	言語・文化系科目												
	社会学系科目												
	学部共通専門科目	HP-HAL-14 1	卒論指導演習1	◎	◎	◎	○	HP-HAL-14 2	卒論指導演習2	◎	◎	◎	○
								HP-HAL-14 3	卒業論文	◎	◎	◎	○

1 ディプロマポリシー①③　自律学習能力
2 ディプロマポリシー②　専門知識・技術
3 ディプロマポリシー④　分析・論理構成・表現力
4 ディプロマポリシー⑤⑥　人間性・協働性

別添2-2「女子短期大学部ディプロマポリシー」

学習成果マトリックス

大項目	小項目	1年次 1 前期 1 No.	科目	学習成果 ①	②	③	④	後期 2 No.	科目	学習成果 ①	②	③	④	2年次 2 前期 3 No.	科目	学習成果 ①	②	③	④	後期 4 No.	科目	学習成果 ①	②	③	④
教養科目 L	人と自然 NA	LNA1101	くらしと生物学 01		○	○	◎	LNA1201	くらしと生物学 01		○	○	◎												
		LNA1102	環境教育 02		○	◎	◎	LNA1202	環境教育 02		○	◎	◎												
	人と社会 SO	LSO1101	日本国憲法 01		○	○	◎	LSO1201	日本国憲法 01		○	○	◎												
	人と文化 CU	LCU1101	デザイン論 01		○	○	◎	LCU1201	美術史 01		○	○	◎	LCU2301	体育実技 01	◎	◎	◎	○	LCU2401	体育講義 01	◎	◎	◎	○
	情報・言語 IL	LIL1101	英語I 01			○	◎	LIL1201	英語II 01			○	◎												
		LIL1102	情報処理I 02			◎	◎	LIL1202	情報処理II 02			◎	◎												
		LIL1103	基礎教養Ⅰ 03	○	◎		○	LIL1203	基礎教養Ⅱ 03	○	◎		○												
	キャリア形成 CA							LCA1201	ライフデザイン 01	◎	○	○	◎	LCA2301	キャリアデザイン 01	◎	○	○	◎	LCA2401	キャリアデザイン 01	◎	○	○	◎
専門科目 S	幼児教育の本質・目的 OB	SOB1101	教育原理 01	◎	◎	○	○	SOB1201	保育原理 01	◎	◎	○	○	SOB2301	教育の制度と社会 01	◎	◎	○	○	SOB2401	子育て支援 01	○	◎	◎	○
		SOB1102	社会福祉 02	◎	◎	○	○	SOB1202	子ども家庭福祉 02	◎	◎	◎	○	SOB2302	社会的養護Ⅰ 02	◎	◎	◎	○	SOB2402	保育者論 02	◎	◎	○	○
								SOB1203	子ども家庭支援論 03	◎	◎	◎	○	SOB2303	教育相談 03	○	◎	◎	○	SOB2403	子ども家庭支援の心理学 03	◎	◎	◎	○
	幼児教育対象の理解 UN	SUN1101	発達心理学 01	◎	◎	○	○							SUN2301	子どもの食と栄養 01	○	◎	◎	○	SUN2401	子どもの食と栄養 01	○	◎	◎	○
														SUN2302	子どもの保健 02	○	◎	◎	○	SUN2402	特別支援教育入門 02	○	◎	◎	○
														SUN2303	教育心理学 03	◎	◎	○	○	SUN2403	子どもの健康と安全 03	○	◎	◎	○
														SUN2304	乳児保育I 04	○	◎	◎	○	SUN2404	乳児保育II 04	○	◎	◎	○
														SUN2305	障害児保育 05	○	◎	◎	○	SUN2405	臨床心理学 05	◎	◎	○	○
														SUN2306	社会的養護Ⅱ 06	○	◎	◎	○	SUN2406	地域福祉活動論 06	◎	◎	○	○
	幼児教育の内容・方法 CO	SCO1101	保育内容総論 01	◎	◎	◎	○	SCO1201	教育方法論 01	◎	◎	◎	○	SCO2301	教育・保育課程論 01	◎	◎	◎	○						
		SCO1102	健康（指導法） 02	◎	◎	◎	○							SCO2302	幼児音楽I 02	◎	◎	◎	○	SCO2402	幼児音楽II 02	◎	◎	◎	○
		SCO1103	環境（指導法） 03	◎	◎	◎	○	SCO1203	生活 03	◎	◎	◎	○												
		SCO1104	言葉（指導法） 04	◎	◎	◎	○																		
		SCO1105	人間関係（指導法） 05	◎	◎	◎	○																		
		SCO1106	表現（指導法） 06	◎	◎	◎	○																		
		SCO1107	児童文化I 07	○	◎	◎	◎	SCO1207	児童文化II 07	○	◎	◎	◎												
	幼児教育の表現技術 TE	STE1101	音楽I 01		◎	◎		STE1201	音楽II 01		◎	◎													
		STE1102	音楽III 02		◎	◎		STE1202	音楽III 02		◎	◎		STE2302	音楽IV 02		◎	◎		STE2402	音楽IV 02		◎	◎	
		STE1103	図画工作I 03		◎	◎		STE1203	図画工作II 03		◎	◎		STE2303	図画工作III 03		◎	◎		STE2403	図画工作IV 03		◎	◎	
		STE1104	体育I 04		◎	◎		STE1204	体育II 04		◎	◎		STE2304	体育III 04		◎	◎		STE2404	体育IV 04		◎	◎	
	教育実習・保育実習 PR	SPR1101	教育実習指導 01	◎	◎	◎	○	SPR1201	保育実習指導I（保育所） 01	◎	◎	◎	○	SPR2301	保育実習指導I（施設） 01	◎	◎	◎	○	SPR2401	保育・教職実践演習（幼） 01	◎	◎	◎	○
		SPR1102	幼稚園実習I 02	◎	◎	◎	◎	SPR1202	保育実習I（保育所） 02	◎	◎	◎	◎	SPR2302	幼稚園実習II 02	◎	◎	◎	◎						
														SPR2303	保育実習I（施設） 03	◎	◎	◎	◎						
														SPR2304	保育実習指導II 04	◎	◎	◎	○						
														SPR2305	保育実習II 05	◎	◎	◎	◎						
														SPR2306	保育実習指導III 06	◎	◎	◎	○						
														SPR2307	保育実習III 07	◎	◎	◎	◎						
	関連科目 RE	SRE1101	地域福祉活動実践I 01				◎	SRE1201	地域福祉活動実践I 01				◎	SRE2301	地域福祉活動実践II 01				◎	SRE2401	地域福祉活動実践II 01				◎

ナンバリング：大項目→小項目→学年→セメスター→番号
（例）くらしと生物学：LNA1101、環境（指導法）：SCO1103、幼稚園実習II：SPR2302

学習成果
①幼児教育者観
②知識・技能
③実践力と実務能力
④人間性と協働性